

半期報告書の適正性に関する確認書

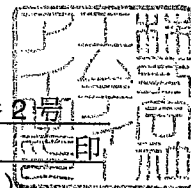
2005年6月20日

株式会社ジャスダック証券取引所
代表取締役会長 兼 社長 長野 紀吉 殿

東京都新宿区西新宿3丁目20番21号
株式会社 エムティーアイ
(JASDAQ コード・9438)

代表取締役社長

前多 俊宏



当社代表取締役社長である前多 俊宏は、第10期事業年度の中間会計期間（2004年10月1日～2005年3月31日）の半期報告書提出時点において、当該半期報告書に不実の記載がないものと認識しています。

この認識に至った理由は以下の通りです。

私は当該半期報告書の記載内容および作成に関する社内体制・手続きについて、以下の点を確認しました。

1. 適時開示に対する報告体制・手続き

情報開示担当役員（取締役 兼 執行役員専務 経営企画室長）およびアカウンティング部長等より、当社（関係会社を含む）の半期報告書に関する作成体制の整備および運用状況についての報告を受け、必要な情報が関連各部署より収集され、適正に会計処理されていると認識しました。

2. 半期報告書の記載内容の確認

半期報告書の掲載内容の大幅な変動項目について、情報開示担当役員、アカウンティング部長等の作成責任者より説明を受け、変動が合理的な理由に基づくものであると認識しました。また、情報開示担当役員、アカウンティング部長等からの報告により、内部検証が実施され、必要な事項が記載されていると認識しました。

3. 監査役の監査結果の確認

監査役より、当中間会計期間の監査結果の説明を受け、記載内容等に関する重要な問題がないことを確認しました。

4. 会計監査人の監査結果の確認

会計監査人（新日本監査法人）より、監査報告書に基づく当中間会計期間の監査結果の説明を受け、開示情報等に関する重要な問題がないことを確認しました。